



患者用インフォメーション

口腔扁平苔癬

扁平苔癬は、皮膚・粘膜疾患であり、口の中だけに見られることもよくあります。扁平苔癬は人口の約2%、全ての年齢層にみられますが、50歳以上の女性に最も共通するといわれます。

原因

扁平苔癬の原因は、完全には解かっていませんが、遺伝や免疫と関連しているようです。皮膚や粘膜の表層内にある抗原に対して、自身の体が反応していること（アレルギー反応に似たもの）が解かっています。“扁平苔癬は、白血球により口腔内の皮膚細胞が攻撃されるタイプの自己免疫疾患である”と考える専門家もいますが、更なる研究が必要とされています。

口腔内にあらわれる扁平苔癬

扁平苔癬は様々な形で口の中に現れます。網様紅斑型（右写真）は頬粘膜によく見られる、わずかに隆起したレース状・波状の白線です。これはWickham 線条とも言われます。苔癬という名は、岩に育つ藻のような波様をした苔（コケ）に由来します。



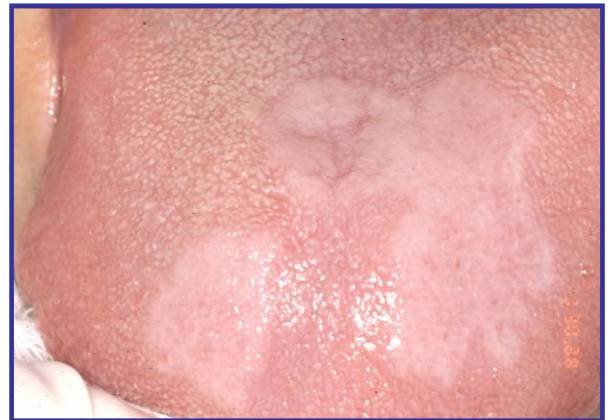
びらん（萎縮）型は、頬・舌・歯肉（左写真）を含む、口腔粘膜のどの部分にも起こります。罹患部位の粘膜の表層が失われているために、この型はしばしば明るい赤色を呈します。多くのびらん型の症例では、飲食時の不快感（特に、熱い物・冷たい物、酸性の物、粗い物、スパイスの効いた物に対して）を伴います。



患者用インフォメーション

口腔扁平苔癬

重症例では潰瘍がみられ（左下写真）、飲食時以外でも疼痛を伴うことがあります。稀な型は、プラーク様(白板様)扁平苔癬で、粘膜組織の肥厚として現れます（右下写真）。



白色病変（Lichenoid reactions）は、臨床的にも組織学的にも扁平苔癬に似た、しかし、アレルギー反応によって起こる粘膜病変です（右写真）。薬剤や口腔衛生製品、また稀ではありますが、歯科で用いられる充填物金属などが影響している可能性のあるものとしてあげられます。白色病変の原因を明らかにするのは困難なことが多いですが、うまくいった場合には完治します。



扁平苔癬の重症度とそれによる機能不全の程度は様々です。皮膚の病変は、典型として、痒みの強い紫色から茶色の隆起として現れます。口腔粘膜の他、目や十二指腸、性器などの粘膜表面にも現れることがあります。



患者用インフォメーション

口腔扁平苔癬

扁平苔癬について Q&A

Q: どのようにして扁平苔癬があるかどうかわかるの？

A: 診断は、熟練したヘルスケア専門医によってなされるべきです。通常、その診断あるいは他の病気でないことを確認するために、生検が勧められます。

Q: 扁平苔癬があり、歯ブラシをする度に口の中が痛みます。どうすればいいの？

A: 扁平苔癬では多くの場合、香料などを最小限にしたマイルドな歯磨き粉を使う必要があります。軟らかい歯ブラシを使うことも必要でしょう。

Q: 口腔扁平苔癬には治療が必要ななの？

A: 網様型では、専門医による定期検診以外に、ほとんど治療の必要はありません。びらん型や潰瘍型は通常、局所用ステロイド剤によりコントロールできます。服用ステロイド剤や他の薬が処方される場合もあります。

Q: 口腔扁平苔癬は治療によって完全に治るの？

A: 口腔扁平苔癬はコントロールできますが、完全に除去するのは困難です。治療のゴールは、厄介なびらん型・潰瘍型の病変を網様紅斑型におさえることです。口腔扁平苔癬のある患者では、多くの場合、そのコントロールのために何らかの維持療法が必要です。口腔扁平苔癬は完治困難なゆえ、再発もあり、追加治療を要することがあります。バランスの良い食事や運動、ストレス軽減といった、健康的なライフスタイルを実行することも効果的でしょう。

Q: 扁平苔癬は感染するの？

A: いいえ。扁平苔癬は、周りの人にうつったり、他からうつされるといったことはありません。

Q: 口腔扁平苔癬は癌化するの？

A: その関連性については賛否両論ですが、口腔扁平苔癬が癌化したという報告はあります。正確な診断（とりわけ、生検による）が行われることの必要性が論じられています。治療効果を評価し、疑いのある病変をモニターするために、口腔扁平苔癬のすべての患者が定期検査を受けるべきです。治療によって良くならない場合、あるいは明らかな病変の変化が認められた場合は、かかりつけ専門医に連絡してください。



患者用インフォメーション

口腔扁平苔癬

口腔扁平苔癬について、他のインフォメーション

国際口腔扁平苔癬サポートグループ

<http://www.tambcd.edu/lichen/>

米国糖尿病学会(健康と栄養に関する情報)

<http://www.eatright.org/cps/rde/xchg/ada/hs.xsl/index.html>

米国皮膚科学会

<http://www.aad.org/public/Publications/pamphlets/LichenPlanus.htm>

米国かかりつけ医師会

<http://familydoctor.org/online/famdocen/home/common/skin/disorders/600.html>

口腔扁平苔癬-文献 E Medicine ウェブサイト

<http://www.emedicine.com/derm/topic663.htm>

米国歯科医師会 (一般的な口腔健康管理に関する情報) general oral health information)

<http://www.ada.org>

米国歯科衛生士会 (一般的な口腔健康管理に関する情報)

<http://www.adha.org/oralhealth/index.html>

一般歯科医師会 (一般的な口腔健康管理に関する情報)

<http://www.agd.org/consumer/>

稀な疾患についての国立団体 (疾患と健康に関する情報)

<http://www.rarediseases.org>

このモノグラフに含まれる情報は、教育目的のみに作成されています。本情報は、専門医のアドバイス、診断、治療にかわるものではありません。健康状態についてのご質問は専門医療提供者にご相談ください。本モノグラムに提供された情報のみに頼ることは、あなたの健康のリスクにつながります。

オーラルメディシン米国アカデミー (THE AMERICAN ACADEMY OF ORAL MEDICINE : AAOM) について

オーラルメディシン米国アカデミーは、デンタルメディシン米国アカデミーとして1945年に設立された非営利団体 (501c6) であり、1966年に現在の名称に改称されました。オーラルメディシン米国アカデミー会員は、国際的に認識されるヘルスケアプロフェッショナルのグループを含む、複雑な全身疾患・口腔粘膜疾患・慢性口腔顔面疼痛などを患う患者の口腔ケアに携わる専門医からなります。オーラルメディシンは、複雑な全身疾患の口腔管理を担い、口腔顔面領域に影響を及ぼす医科関連疾患とその病態の診断および非外科的処置を担う歯科専門分野です。

The American Academy of Oral Medicine • (425) 778-6162 • www.aaom.com • PO Box 2016 • Edmonds • WA • 98020-9516